

石巻港 外郭施設被災状況 ～ 雲雀野地区 南防波堤 ～



1. 南防波堤

- ・既設延長1,820mの堤体が平均1.7m程度全体的に沈下し、消波ブロックも全域に渡り沈下。

被災前



被災後



石巻港 被災後(埋没) ～ 航路・泊地(-13m) ～



石巻港 港湾施設災害復旧工程計画

第3回石巻港復興会議
平成23年8月5日時点計画

: 国施工 (前回計画)
 : 県施工 (前回計画)
 : " (修正計画)
 : " (修正計画)

施設名	水深(m) 延長(m)	主要工種	H23年度												H24年度											
			7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
雲雀野1号	-13m	岸壁(上部、舗装、裏込・裏埋工等)																								
	260m	ふ頭用地嵩上げ等																								
雲雀野2号	-13m	岸壁(上部、舗装、裏込・裏埋工等)																								
	260m	ふ頭用地嵩上げ等																								
航路・泊地(-13m)	-13m	グラブ浚渫																								
南防波堤	1,820m	上部工、消波工																								

※本表は、現時点の調査結果を基に、概ねの工事期間を示したものである。

石巻港 港湾施設復旧計画(案)

県施工

施設名	水深(m)	H23年度												H24年度			H23.8.4
	延長(m)	主要工種															

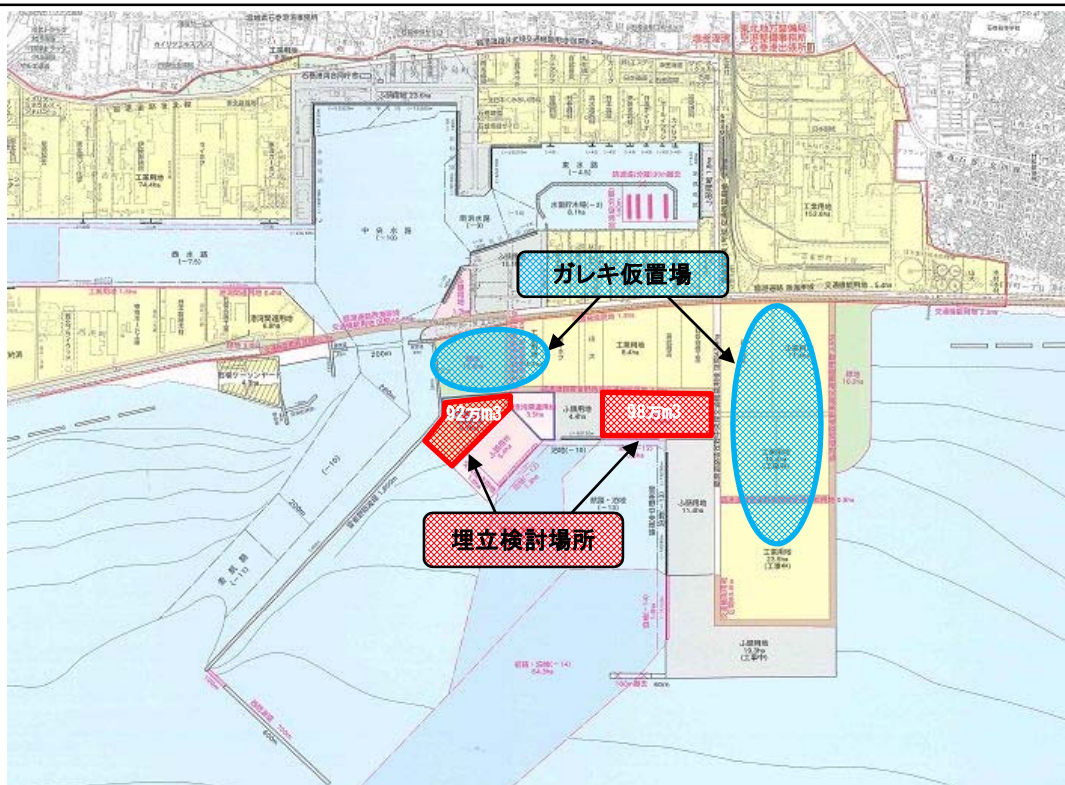
◎現地調査・航路密着作業～
(4/1一般船舶入港可) → 災害査定
◎調査・設計～

施設名	水深(m)	延長(m)	H23年度												H24年度			H23.8.4								
			4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6		7	8	9	10	11	12	1	2
雲雀野北埠頭	-10m	170m	岸壁(上部、舗装、裏込、裏埋工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
中島埠頭 (15,000t)	-10m	370m	岸壁(上部、舗装、裏込、裏埋工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
中島埠頭 (2,000t)	-5.5m	130m	岸壁(上部、舗装、裏込、裏埋工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
中島埠頭 (1,000t)	-4.5m	60m	岸壁(上部、舗装、裏込、裏埋工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
日和埠頭 (15,000t)	-10m	185m	岸壁(上部工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
日和埠頭 (10,000t)	-9.0m	165m	岸壁(上部工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
日和埠頭 (1,000t)	-4.5m	380m	岸壁(上部工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
大手埠頭 (5,000t)	-7.5m	280m	岸壁(上部、下部工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
大手埠頭 (2,000t)	-5.5m	320m	岸壁(上部、舗装工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
南浜埠頭 (10,000t)	-9.0m	165m	岸壁(上部、舗装工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
南浜埠頭 (5,000t)	-7.5m	130m	岸壁(上部、舗装工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
南浜埠頭 (大型繊維)	-10m	165m	岸壁(上部工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									
瀬戸埠頭 (1,000t)	-4.5m	300m	岸壁(上部、舗装工等)																							
	ふ頭用地嵩上げ等																									

※復旧計画(案)については現時点のものであり、今後の調査設計の進捗、港湾利用者との調整等を踏まえて変更となる場合があります。
※日和岸壁(15,000t、10,000t)については、別途パナマックス対応工事もあります。

津波により発生したガレキ処理への貢献

○津波等により発生するガレキは宮城県内で15,824千トン（H23.7.29環境省）と推計されており、中でも石巻市は6,163千トン（約39%）と被災地の中で群を抜いて多く、石巻港雲雀野地区、大曲地区が二次仮置場となっている。
 コンクリート殻等の安定したガレキについて、石巻港での埋立処分を検討する。（受入容量：約190万m³）



1. ガレキ発生量
 - ・宮城県内：15,824千トン（H23.7.29環境省）
 - ・石巻市：6,163千トン（約39%）
2. 仮置場への搬入済量
 - ・宮城県内：6,237千トン（H23.7.29環境省）
 - ・石巻市：1,244千トン（H23.7.29環境省）
3. 撤去率（解体を除く撤去割合）：83%
4. 仮置場への搬入済率（ガレキ推計量に対する割合）：20%

【課題】

- 現在の仮置場面積（石巻市83.6ha）では不足のため逼迫状態。
- 県は石巻港雲雀野地区に二次仮置場として約68haを確保しているが、大量の災害廃棄物撤去及び最終処分が課題となっている。